

# 中長期的戦略WGにおける 具体的検討の進め方(案)

---

平成23年11月18日  
事務局

# 中長期的戦略WGにおける具体的検討の進め方

## 1. 当面の検討の進め方

標準化政策検討委員会第4回及び第5回会合で決定された今後の検討の進め方等に従い、以下の要領で、当面の検討を進めていくこととしたい。

- ◆ 検討に当たっての基礎資料として、本WGで検討された5つの分野(新世代ネットワーク、次世代ワイヤレスネットワーク、フォトニックネットワーク、ネットワークロボット、センサーネットワーク)の検討状況を踏まえ、それぞれの活動の関係者等の意見を集約する形で、「標準化戦略マップ(仮称)」の素案を作成する(イメージは別添のとおり)。
- ◆ これらのマップ素案を基にして、次回以降のWG会合において、別紙1及び別紙2に示す考え方等を踏まえつつ、マップを最終答申の一部としてオーソライズするイメージで必要な検討を行い、論点整理を行いながら、最終答申における具体的な提言内容について議論を深める。

## 2. 当面の検討スケジュール

- 23年11月18日 WG第4回会合(今後の進め方等)
- ~24年1月上旬 「標準化戦略マップ(仮称)」の素案を作成
- 同 1月中旬 同素案をWGメンバーに事前送付
- 同 1月下旬 WG第5回会合(論点整理)
- ~同 2月下旬 「標準化戦略マップ(仮称)」、論点整理のブラッシュアップ
- 同 3月上旬 WG第6回会合(取りまとめ案)

## <目標設定に関する4つの条件>

### 1 具体的な目標であること。

いつ、何をするかははっきり書かれていること。

### 2 挑戦的な目標であること。

後で成功したと言いたいがために意図的に低い目標を設定しないこと。

### 3 実現可能な目標であること。

実行可能性に対して十分な配慮と検討を行った上で高い目標を設定すること。

### 4 測定可能な目標であること。

## <留意事項>

- 長期的な目標を設定する場合には、途中のチェックポイントとしてマイルストーンを設定すること。
- 挑戦的な目標を設定することから、検証・評価においては、ある程度の失敗は許容しつつ、失敗に対し過度に咎めることがないように配慮すること。

## (1)国による標準化活動の促進が、中間答申で検討した各種課題解決に貢献していると評価し得るか

- ・ 利用者の利便性向上や産業の発展の観点からのネットワークインフラ発展に対する要求
- ・ 震災を契機として明らかとなった課題の解決 等

## (2)「国民の目に見える効果」等の観点から、国による標準化活動の促進に意義を見出し得るか

- ・ 我が国のICT産業の国際競争力の強化
- ・ 震災を契機として明らかとなった課題の解決 等

## (3)標準化活動に携わる者の中で、標準化の目的や、競争領域・協調領域のあり方などについて、基本的認識が共有された上で活動が行われているか

## (4)その他

- ・ 活動支援のあり方
- ・ 人材育成
- ・ 研究開発戦略、知財戦略との連動
- ・ 標準採用に向けた工夫 等

※ 中間答申及び標準化政策検討委員会第4回及び第5回会合での議論を踏まえて作成

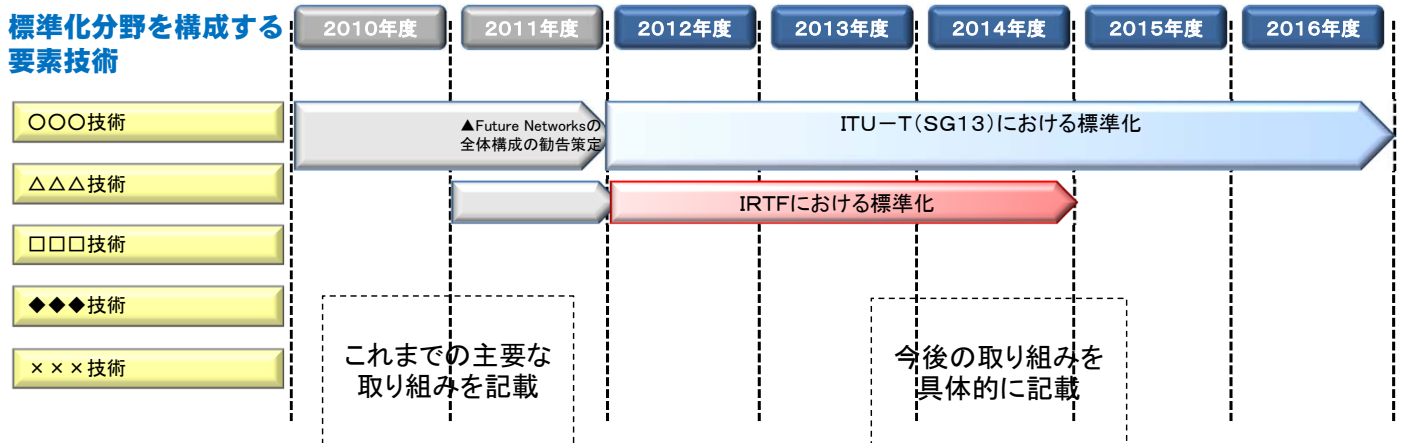
## 1. 新世代ネットワーク

ネットワーク仮想化技術により、状況に応じて優先すべきサービスを提供することや、ネットワークの機能・機器が一部停止した際に他のネットワークを活用してサービスを維持すること等を可能とするため、所要のプロトコルや通信機器仕様等を標準化。

### ＜標準化分野に関する基本情報＞

(1) 標準化分野を構成する要素技術	(2) 標準化に関係する国内団体等	(3) 国際標準化活動の現状及び諸外国の動向	(4) 当面の標準化活動における具体的な目標及びその理由
①○○○技術	・新世代ネットワーク推進フォーラム(標準化推進部会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITU-T(SG13)において標準化の議論を開始</li> <li>・○○において△△の議論が行われているところ</li> <li>・欧州においては・・・</li> <li>・米国においては・・・</li> <li>・アジアにおいては・・・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・◆◆のために、○○までに、△△において、□□の提案を行う</li> </ul> <p style="font-size: small;">(競争領域と協調領域の関係や、最終的な達成目標との関係など、当面の目標設定の背景にある参考情報についても、できる限り記載)</p>
②△△△技術			
③□□□技術			
④			
備考	<p>(本分野における活動支援のあり方(官民の役割分担)、人材育成の考え方、研究開発戦略・知財戦略との連携、標準採用に向けた工夫などについて具体的に記載)</p>		

### ＜標準化ロードマップ＞



### (参考) ～新世代ネットワークのサービスイメージ～

(標準化政策の検討の参考とするためにイメージ図を添付)

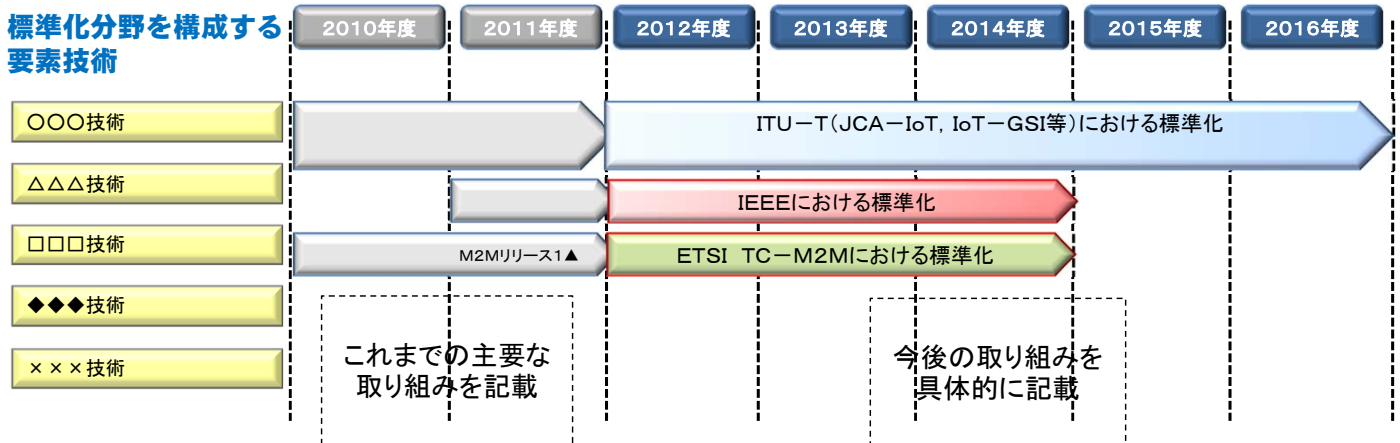
## 2. 次世代ワイヤレスネットワーク

様々な製造メーカーが設置する、センサーその他の多様な通信機器、デバイスの相互接続を可能とし、かつ、人を介さず自律的に安定した通信を可能とするための、M2Mに係る無線通信方式、インタフェース、プロトコル等を標準化。

### ＜標準化分野に関する基本情報＞

(1) 標準化分野を構成する要素技術	(2) 標準化に関係する国内団体等	(3) 国際標準化活動の現状及び諸外国の動向	(4) 当面の標準化活動における具体的目標及びその理由
①○○○技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロードバンドワイヤレスフォーラム</li> <li>・新世代M2Mコンソーシアム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IEEEやETSI M2Mにおいて標準化の議論を開始</li> <li>・○○において△△の議論が行われているところ</li> <li>・欧州においては…。</li> <li>・米国においては…。</li> <li>・アジアにおいては…。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・◆◆のために、○○までに、△△において、□□の提案を行う</li> </ul> <p style="font-size: small;">(競争領域と協調領域の関係や、最終的な達成目標との関係など、当面の目標設定の背景にある参考情報についても、できる限り記載)</p>
②△△△技術			
③□□□技術			
④			
備考	<p>(本分野における活動支援のあり方(官民の役割分担)、人材育成の考え方、研究開発戦略・知財戦略との連携、標準採用に向けた工夫などについて具体的に記載)</p>		

### ＜標準化ロードマップ＞



### (参考) ～次世代ワイヤレスネットワークのサービスイメージ～

(標準化政策の検討の参考とするためにイメージ図を添付)